

今回の電力需給の検証の進め方について

需給検証委員会について

背景

- 公平性・透明性を確保した形で電力需給を検証するため、本年4月にエネルギー・環境会議と電力需給検討会合の下に需給検証委員会を設置し、報告書取りまとめ。本年5月、合同会合で「今夏の電力需給対策」を決定。
- 今般(9月末日)、今夏の節電要請期間が終了したことを踏まえ、再度、需給検証委員会を開催し、今夏の電力需給の実績を検証するとともに、今冬における需給の見通し・対策について検討。

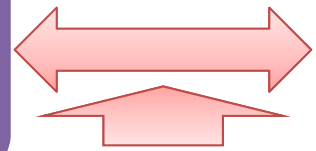
需給検証委員会の位置づけ

電力需給に関する検討会合

- 座長 : 官房長官
- 座長代行 : 経済産業大臣
- 構成員 : 総理を除く全閣僚

震災対応として電力需給対策を検討

合同会合で需給対策を取りまとめ



報告

エネルギー・環境会議

- 議長: 国家戦略担当大臣
- 副議長: 経済産業大臣、環境大臣
- 構成員: 官房長官、外務大臣、文科大臣、農水大臣、国交大臣、官房副長官等

短期エネルギー対策として電力需給対策を検討

* 委員会の報告では、需給の見通しは示すものの、節電目標は出さず、節電目標は合同会合で決定

需給検証委員会

- 委員長 : 国家戦略担当副大臣 副委員長 : 経済産業副大臣
- 委員 : 秋池 玲子(ポストコンサルティング ディレクター)
- 秋元 圭吾((財)地球環境産業技術研究機構 副主席研究員)
- 阿部 修平(スパークス・グループ(株)社長)
- 植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科 教授)
- 大島 堅一(立命館大学国際関係学部 教授)
- 萩本 和彦(東京大学生産技術研究所 特任教授)
- 柏木 孝夫(東京工業大学ソリューション研究機構 教授)
- 笹俣 弘志(A.T.カーニー(株) パートナー)
- 松村 敏弘(東京大学社会科学研究所 教授)

電力需給について第三者の視点から客観的に検証

【運営方法】

- 委員会の資料・議事については全て公開し、透明性の高い検証を行う。
- 電気事業法に基づく報告徴収による情報を活用し、適切な検証を担保する。

検討項目とスケジュール

2

今夏の需給検証

- 今夏の取組みの実態把握
 - －電力会社からのヒアリング
＜関西電力、九州電力＞
 - －需要家等からのヒアリング
＜住友電工、関西広域連合、
環境経営戦略総研＞
- 今夏の需給実績の整理・検証

今冬の需給見通し

- 今冬の需給見通しの概観把握

その他

- 今夏の需給検証のまとめ

- 厳しい需給を見込む北海道の実態把握
 - －電力会社からのヒアリング
＜北海道電力を予定＞
 - －需要家等からのヒアリング
＜ヒアリング先調整中＞
- 今冬の需給見通しの整理・検証

- 電力コスト等への影響の把握
- 来夏の見通しと需給関連施策のまとめ

第1回
10/12
(金)

第2回
10/19
(金)

第3回
10/24
(水)

報告案の検討・取りまとめ

報告取りまとめ(必要な場合)

10月末～11
月初旬

エネルギー環境会議・電力需給検討会合 合同会合で「今冬の需給対策」を決定

電力需給の検証に関する主要論点

3

【今夏の需給の検証】

供給面	<ul style="list-style-type: none"> ○供給力は、想定したものと比べてどうであったか。 ○火力は、どの程度の供給力であったか。供給に重大な影響を与える計画外停止等の状況はどうか。 ○水力や再生可能エネルギーによる供給力はどうか。過大又は過小の見通しとなっていなかったか。 ○供給面でどのような取り組みがなされたか。 ○関西電力管内では、大飯原発の再稼働が無ければ需給はひっ迫していたか。中西6社管内からの融通余力を加味するとどうなるか。
需要面	<ul style="list-style-type: none"> ○今夏の需要は、節電目標と比べてどの程度減少したか。 ○需要減少は需要家によってばらつきはあるか。需要減少となった主な要因は何か。 ○今回の節電要請は、社会経済活動にどのような影響を及ぼしたか。 ○いわゆる定着節電が相当程度進んだのではないか。 ○需要対策としてどのような取り組みがなされたか。

【今冬の需給見通し】

供給面	<ul style="list-style-type: none"> ○火力の定期検査、計画外停止等による影響はどの程度か。 ○長期停止・被災火力の再稼働、緊急設置電源等による出力増、自家発からの購入増、再生可能エネルギーの更なる供給等による供給力の増加は見込めるか。 ○電力融通の見込みはどうか。
需要面	<ul style="list-style-type: none"> ○今冬の経済見通し、気温影響の見込みはどうか。 ○調整契約など主な節電対策の見込みはどうか。 ○いわゆる定着節電をどの程度見込むのか。
需給ギャップ	<ul style="list-style-type: none"> ○需給が厳しいと見込まれる北海道では、他の地域に比べて一段の対策が必要か。 ○電力需給面では比較的規模が小さく、かつ、北本連系線のみで他地域と繋がっている北海道の特性を踏まえた対策が必要か。

【電力コスト等への影響】

コスト・対策	<ul style="list-style-type: none"> ○原子力の火力代替によるコスト上昇はどの程度となっているか。 ○コスト上昇以外に火力代替が与える影響はどのようなものがあるか。 ○電力会社や国による対策の進捗はどうか。
--------	--

【来夏の需給見通し】

需給・対策	○現時点における来夏の需給の見通しと予算等の対応について
-------	------------------------------